

CP-3- i -02	基礎演習 V	第 3 学年	後期 選択	0.5 単位
担当者	浅井、千葉、坂田、竹ノ谷、岩崎、他			
一般目標 (GIO)	薬学関連科目の内容に関する理解を深め、問題解決能力を養うために、3 学年前期に履修した科目のうち、基礎演習 V 関連科目における基本的知識を身につける。			
到達目標 (SBOs)	1. 基礎演習 V 関連科目におけるウィークポイントを、正しく把握することができる。 2. 基礎演習 V 関連科目におけるウィークポイントに関連した課題を説明できる。 3. 修得した知識を維持するよう工夫できる。			
受講心得・準備学習等	自己のウィークポイントを正確に把握してこれを修得すべく努力する必要がある。自主学習能力を養えるよう指導するので、質問や不明点等はできるだけ早く相談し解決すること。各自のプレテストの結果を踏まえて、各回の内容について講義前に 1 時間/回程度の予習をしておくことが望ましい。			
事後学習・復習等	担当教員の指示にしたがい、与えられた課題等を指定期日までに確実にこなす学習ができるよう努力すること。この作業を反復して行うことにより、学習習慣を身に付けるよう努力すること。各回の内容について、2 時間/回程度の復習をしておくことが望ましい。			
オフィスアワー	総合基礎薬学教育研究部門：平日の 8:00～8:45 および 17:00～19:00 を基本とするが、部門教員が在室の場合はいつでも対応可能。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		ゼミナール形式、個別指導形式、SGD、確認テストなどを実施する。		
回	項目	内容	担当者	
1	概論 基礎薬演 V プレテスト	基礎演習 V の概略説明、及び関連科目の学習方法、知識を維持するための工夫を説明する。 基礎薬演 V 関連科目の基本的知識の到達度確認テストを実施する。	浅井、竹ノ谷、他	
2	製剤化のサイエンス I、天然資源 II	製剤化のサイエンス I、天然資源 II におけるウィークポイントを、正しく述べることができ、これに関連した課題を説明できる。	坂田、岩崎、他	
3	分子生物学	分子生物学におけるウィークポイントを、正しく述べることができ、これに関連した課題を説明できる。	千葉、竹ノ谷、他	
4	衛生学 I、薬物動態 II	衛生学 I、薬物動態 II におけるウィークポイントを、正しく述べることができ、これに関連した課題を説明できる。	岩崎、千葉、他	
5	薬物治療 II、薬物治療 III	薬物治療 II、薬物治療 III におけるウィークポイントを、正しく述べることができ、これに関連した課題を説明できる。	千葉、他	
6	基礎薬演 V ポストテスト	基礎薬演 V 関連科目の基本的知識の到達度確認テストを実施する。	浅井、竹ノ谷、他	

成績評価の方法	成績評価はポストテストによって行う。ただし、原則としてプレテストを受験していなければポストテストの受験資格はないものとする。
成績評価の基準	ポストテストの得点が 60%以上を合格とする。
教科書	原則として、基礎演習 V の各関連科目で用いる教科書を持参すること。
参考書など	個々の理解度に合わせた参考書を随時紹介する。